

育児院だより

2024年6月10日

第86号

発行：社会福祉法人児童養護施設 埼玉育児院

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

Tel.049-231-2107

発行責任者：藤井美憲 編集：児童養護施設埼玉育児院広報委員会

Fax049-231-2111

「新たな時代に向き合う」

施設長 藤井美憲

令和6年度が始まり、早くも2か月が経ちました。5月に台風が来ました。気候の変動は年々予測を超えることが多くなりました。

昨年度は、新たに「こども家庭庁」がつけられ、子ども基本法に基づき新しい方針や制度が発表されました。改正児童福祉法に基づく動きも今年度から新たに始まります。これまでにない変動の中で児童養護施設のあり方も変わろうとしています。

平成29年(2017年)8月に発出された「新しい社会的養育ビジョン」によって、社会的養育の全体像が示され、国から社会的養育推進計画の策定を求められました。10年間の計画の今年度は5年目を迎えます。来年度からの5年間の計画を今年度中に策定するように推進計画の策定要領が決定されています。児童養護施設は、特に「小規模化」と「地域分散化」が求められています。また、里親への委託率を高めることも求められています。

埼玉育児院は、「小規模化」と「地域分散化」を進めるために、昨年度までに4ヶ所の地域小規模児童養護施設を設置運営する施設となりました。最大の課題は、職員の人材確保です。職員の数が必要なために、入所の依頼があっても断ることが多くなっています。現に生活している子どもの数も年々減少しているのが実態です。

「小規模化」を進めることで、子どもの支援(ケア)の質は上がっていきます。そのことの意味は、多人数の子どもが少人数になるということです。少人数となると、個々の子どもの様子が分かりやすくなり、子どもと職員の距離が縮まるということが起こります。落ち着かなかった子どもが落ち着いたり、自分の思いを表現できなかつた子どもが表現できるようになったりするのは、これまでに表現できなかつたものが表現され始めるので、対応する職員も十分に受け止めて応じることに慣れていくのに時間がかかります。そんな変化の中で、子どもたちは日々育っていきます。大人もしっかりと対応ができるようにならないといけません。

改正児童福祉法では、子どもの権利擁護が強化され、「意見表明等支援員」が新たに設けられることとなります。子どもの意見は、日常のいたるところ、様々な場面で受け取ることが出来ます。日頃から、子どもの意見や発言に気を留めながら、その子の本音にたどり着こうとする心がけが必要になります。これまでも、子どもに対する配慮はしてきていますが、行動ばかりに気を取られていると心の動きを見落とすこととなります。子どもの心へのまなざしは、あたたかい気持ちと深い理解を伴うまなざしにしていくことが求められるようになるのです。

新たな時代となっても、子どもの心へのまなざしに思いやりを忘れないように向き合っていきます。

第14回 埼玉育児院 チャリティーコンサート

たかはしぺんコンサート 「しあわせの種」

45年間 全国で5000回のステージ
生きるための知恵と勇気を届けたい
子どもたちは笑い おとなたちは涙する
「にんげんっていいな!」感動のコンサート

2024年
9月28日(土)

開場13:30/開演14:00(終演予定16:00)

会場 **川越市やまぶき会館**
(埼玉県川越市郭町1丁目18番地1)

●駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

チケット代 **2,000円**《未就学児は無料》

プログラム

○オリジナル曲/

「川越線の歌」「れんげい寺の焼きそば屋さん」「川越哀歌」
・いのちのメッセージ
「息子に」「しあわせの種」「おまじない」「自分で」
・楽しい歌

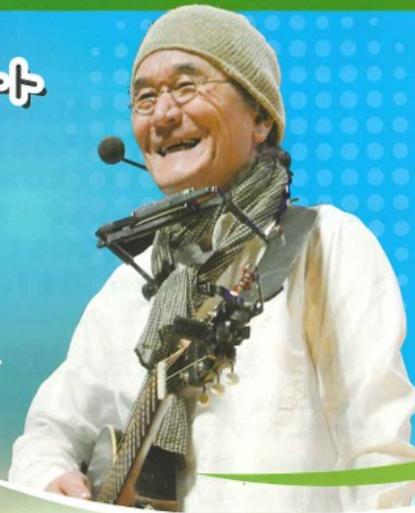
「いいの!」「はえをのみこんだおばあさん」「ゴキブリの歌」

○カバー曲/

「ミセス・ロビンソン」「スカボロ・フェア」「星に願いを」他

「星に願いを」

生まれたところ	育ったところ	一人一人のいのち
どんな暮らしをしていても	かけがえのない	そのいのち
夜空の星は かなえてくれる	悲しい時は	みあけてごらん
誰にも同じ幸せを		空から見ている星を



〈出演〉歌とギター …たかはしぺん
ベース……………森田 正治
ピアノ ……………磯崎 麻奈美



児童虐待防止のオレンジリボン運動に賛同しています。

【お問合せ先】

埼玉育児院後援会事務局

川越市笠樺4904-1

TEL 049-233-4360

受付時間:平日9時~17時(土・日・祝日は休み)

チケットの

申し込みはこちら↓



■主催:社会福祉法人 埼玉育児院後援会

■後援:川越市・川越市教育委員会・川越市社会福祉協議会



第14回 埼玉育児院
チャリティーコンサート
2024年9月28日(土)
開場13:30/開演14:00

川越市やまぶき会館

チケット 2000円

お問合せ 049-233-4360

お誘い合わせの上、

お気軽にご来場ください!



チケットの
申し込みはこちら↓



辞令式を執り行いました

恒例の4月1日社会福祉法人埼玉育児院辞令式を行いました。法人の児童養護施設と母子生活支援施設の合同で行います。

近年、年度途中に入職する職員も多く、このお便りで紹介できておりませんが、新しい職員共々宜しくお願いします!



寄付者・ボランティア紹介

いつもありがとうございます

令和6年3月～5月 順不同・敬称略

【寄付者】まいまい、一般社団法人日本児童養護施設財団、社会福祉法人埼玉育児院後援会、クドウアツシ、岸上美樹、川上剛正、リラの会北郷瑞恵、川越鴻文堂、株式会社 Daska&Desiree、長谷川雄二、竹井博康、岡根たつ子、増山高平、坂下榮美子、株式会社チュチュアンナ・1%クラブ、星野敦志・章子、岸俊子、匿名多数
【ひまわり学習ボランティア】神山裕一、小室敏夫、寺岡美雪、栗原麻衣子、小野寺久、タンリジン、榎並和良
【花植え・除草等環境整備】育児院サポートクラブ 【ダンス教室】Act The Family
【スケートキャンプ】森田和治みなさま 【七五三写真撮影】アルファクラブ武蔵野ホテルガーデンパレス
【イベント等招待】ギネス記録挑戦イベント：鐵晃次郎、小野晋一郎、若山将士、山形将平、中島祐子、長藍香



日常の ほっこりな ひと時

中学校の体育祭がありました。

学校行事体育祭では、普段の生活とは違う、学校で頑張る子どもたちの姿に毎年感動させられます。今年の体育祭を観覧、応援した職員のみみじみな感想です。



A ちゃんの運動神経の良さを実感！
踊る姿がかわいかった。

いつも聞いているCちゃんの恋バナ。好きな子とのバトンパスに、こちらがニヤニヤしてしまった(笑)

競技・ダンスはもちろん、応援も一生懸命やっており、B君の活躍ぶりがすごかった！



朝の行き渋りが嘘のように一喜一憂して体育祭を楽しんでいた。D君の人柄がよく出ており、友人と喜び抱き合ったり、飛び跳ねて喜んだりしていた。係の仕事もキッチリこなしていた。純粋に楽しむ姿を見て感動。いい姿だった。

児童養護施設 埼玉育児院

施設概要

児童養護施設は、保護者のない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設です(児童福祉法 41 条)。児童相談所長の判断に基づき、都道府県知事が入所措置を決定します。

埼玉育児院は、2歳～18歳までの児童が4～8人のグループで生活する家が10軒と一時保護棟1軒があります。

本院：児童の家6軒(定員44名)、一時保護棟(定員6名)、事務棟等
地域小規模児童養護施設：市内4カ所(定員22名)



令和6年5月現在